

# 議員研修報告



- 研修日時：平成23年10月24日(月)～26日(水)
- 研修場所：
  - 研修① 京都府京丹波町  
【第3セクター事例】 10/24
  - 研修② 福井県小浜市  
【食のまちづくり条例・生涯食育推進の取組み】 10/25
  - 研修③ 岡山県津山市  
【B級グルメでまちづくり】 10/26

## 第3セクター成功事例 ハタケシメジの生産

京都府 京丹波町

京丹波町瑞穂農林(株)ハタケシメジ生産施設を視察しました。間伐材のオガ粉を活用してハタケシメジを生産し不要となった廃菌床を材料に堆肥を生産するとともに、優良野菜の生産に、また働く場の確保と地域農林業の振興と山村の活性化に努力していました。

森林面積は町の総面積の87・4%を占めている。地域の間伐面積は、昭和63年をピークに減少を続け、平成6年度には531haにまで減少、その後間伐の普及に取り組み平成11年度には1442haを実施。しかし木材価格低迷から多くが林地に放置されていた。この木材を有効に活用し特用林産物の振興を図るため、民間事業者の技術力を活用し町、森林組合が第3セクターを設立「ハタケシメジ」の生産に取り組んでいました。出資はタカラバイオ(株)49



ハタケシメジ

0万円、京丹波町410万円、森林組合100万円、計1千83万円。施設建設費25億9683万円。従業員数は、正社員10人、契約社員10人、出向社員4人、パート56人で、売上7億円超です。町の間伐材のオガ粉の活用と第3セクターは当町にないため大いに参考になりました。

第3セクターの運営は核になる技術、人材、資本、流通が重要であり、町が第3セクターを設立するためには越えなければならない課題であると思いました。

産業建設常任委員長

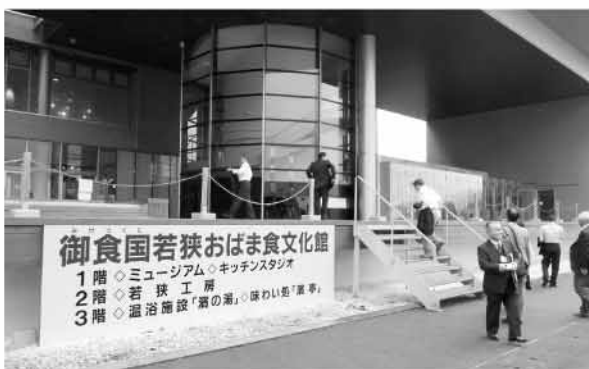
矢野 昭三

## 食でまちおこし

福井県 小浜市

「御食国若狭おばま」のキッチンフレイズで売り出している小浜市は、福井県の西部に位置し、人口3万3千人のまちです。若狭湾に囲まれ、豊富な食材に恵まれ、奈良、平安時代から朝廷に海産物や塩などを納めた歴史を持っています。市は豊かな「食」をまちづくりの中心に据えた「食のまちづくり」を推進しており、平成13年には全国に先駆けて「食のまちづくり条例」を制定し、平成15年には拠点施設「御食国若狭おばま食文

化会館」を開館しています。



大規模な施設を見学